



04105  
2661

**VIA COURIER**

**Honorable Commissioner for  
Patents and Trademarks,  
Washington, D.C. 20231**

**RECEIVED**  
NOV 15 2002  
Technology Center 2600

**Re: US Patent Application No.: 10/064,932  
Filed: August 30, 2002  
Applicant: Yutaka NAKAJIMA  
For: INTERCONNECTING DEVICE, COMMUNICATION  
CONTROL METHOD, COMMUNICATION CONTROL  
PROGRAM, AND COMMUNICATION SYSTEM**

**Dear Sir,**

**Enclosed are the following in connection with the above-referenced  
United States patent application.**

**- Submission of Priority Document.**

**Kindly contact the undersigned if you have any questions or  
concerns regarding this matter.**

**Very truly yours,**

**Karan Singh**

**Registration No. 38698**

**RYUKA IP LAW FIRM**

**6th Floor, Toshin Building, 1-24-12,**

**Shinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo, Japan**

**Telephone: +81-3-5366-7377**

**Facsimile: +81-3-5366-7288**

**Date: November 6, 2002**



IP2205002US

PATENT APPLICATION

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re application of

Yutaka NAKAJIMA

Appln. No. 10/064,932

Filed: August 30, 2002

Confirmation No. 2358

Group Art Unit: 2661

Examiner: Unknown

RECEIVED  
NOV 15 2002  
Technology Center 2600

For: INTERCONNECTING DEVICE, COMMUNICATION CONTROL METHOD,  
COMMUNICATION CONTROL PROGRAM, AND COMMUNICATION SYSTEM

**SUBMISSION OF PRIORITY DOCUMENT(S)**

Assistant Commissioner for Patents

Washington, D.C. 20231

Sir,

Under the provisions of 35 USC 119 and 37 CFR 1.55(a), the applicant hereby claims the right of priority based on the following application(s):

<u>Country</u>	<u>Application No.</u>	<u>Filed</u>
WIPO	PCT/JP02/02833	March 25, 2002

A certified copy of the above-noted application(s) is (are) attached hereto.

Respectfully submitted,

Karan Singh

Registration No. 38698

RYUKA IP LAW FIRM

6th Floor, Toshin Building, 1-24-12,

Shinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo, Japan

Telephone: +81-3-5366-7377

Facsimile: +81-3-5366-7288

Date: November 6, 2002



CERTIFIED COPY OF  
PRIORITY DOCUMENT

日 本 国 特 許 庁

JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類は下記の出願書類の謄本に相違ないことを証明する。  
This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed  
with this Office.

出 願 年 月 日  
Date of Application:

2002年 3月25日

出 願 番 号  
Application Number:

PCT/JPO2/02833

出 願 人  
Applicant (s):

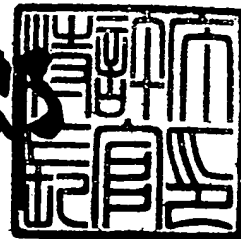
アライドテレシス株式会社

RECEIVED  
NOV 15 2002  
Technology Center 2000

2002 年 10 月 25 日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

太田信一郎



# ● 受理官庁用写し

1/3

特許協力条約に基づく国際出願願書

原本（出願用） - 印刷日時 2002年03月19日（19. 03. 2002）火曜日 14時33分05秒

IP2203002PCT

0	受理官庁記入欄	PCT/JP02/02833
0-1	国際出願番号.	
0-2	国際出願日	25.03.02
0-3	(受付印)	PCT International Application 日本国特許庁
0-4	様式-PCT/RO/101 この特許協力条約に基づく国際出願願書は、 0-4-1 右記によって作成された。	PCT-EASY Version 2.92 (updated 01.01.2002)
0-5	申立て 出願人は、この国際出願が特許協力条約に従って処理されることを請求する。	
0-6	出願人によって指定された受理官庁	日本国特許庁 (RO/JP)
0-7	出願人又は代理人の書類記号	IP2203002PCT
I	発明の名称	ファクシミリ通信可能なVoIP端末およびその通信方法
II	出願人	
II-1	この欄に記載した者は	出願人である (applicant only)
II-2	右の指定国についての出願人である。	すべての指定国 (all designated States)
II-4ja	名称	アライドテレシス株式会社
II-4en	Name	ALLIED-TELESIS, K.K.
II-5ja	あて名:	141-8635 日本国 東京都 品川区 西五反田7丁目22番17号 TOCビル4F
II-5en	Address:	4F, TOC Bldg. 22-17, Nishi-Gotanda 7-chome Shinagawa-ku, Tokyo 141-8635 Japan
II-6	国籍 (国名)	日本国 JP
II-7	住所 (国名)	日本国 JP
II-8	電話番号	03-5437-6037
II-9	ファクシミリ番号	03-5437-6008
II-10	電子メール	kasatoh@allied-telesis.co.jp
III-1	その他の出願人又は発明者	
III-1-1	この欄に記載した者は	発明者である (inventor only)
III-1-4ja	氏名 (姓名)	中島 豊
III-1-4en	Name (LAST, First)	NAKAJIMA, Yutaka
III-1-5ja	あて名:	141-8635 日本国 東京都 品川区 西五反田7丁目22番17号 アライドテレシス株式会社内
III-1-5en	Address:	Allied-telesis, K.K. 22-17, Nishi-Gotanda 7-chome Shinagawa-ku, Tokyo 141-8635 Japan

4F, TOC Bldg.

Ro

Ro

Ro

Ro

Ro

Ro

IV-1	代理人又は共通の代表者、通知のあて名 下記の者は国際機関において右記のごとく出願人のために行動する。	代理人 (agent)
IV-1-1ja	氏名(姓名)	桂木 雄二
IV-1-1en	Name (LAST, First)	KATSURAGI, Yuji
IV-1-2ja	あて名:	102-0073 日本国 東京都 千代田区 九段北4丁目1番5号 市ヶ谷法曹ビル208号
IV-1-2en	Address:	Room 208, Ichigaya-Hoso Bldg. 1-5, Kudan-kita 4-chome Chiyoda-ku, Tokyo 102-0073 Japan
IV-1-3	電話番号	03-5226-5878
IV-1-4	ファクシミリ番号	03-3288-3222
IV-1-5	電子メール	katsuragi@mtb.biglobe.ne.jp
V	国の指定	
V-1	広域特許 (他の種類の保護又は取扱いを求める場合には括弧内に記載する。)	AP: GH GM KE LS MW MZ SD SL SZ TZ UG ZM ZW 及びハラレプロトコルと特許協力条約の締約国である他の国 EA: AM AZ BY KG KZ MD RU TJ TM 及びユーラシア特許条約と特許協力条約の締約国である他の国 EP: AT BE CH&LI CY DE DK ES FI FR GB GR IE IT LU MC NL PT SE TR 及びヨーロッパ特許条約と特許協力条約の締約国である他の国 OA: BF BJ CF CG CI CM GA GN GQ GW ML MR NE SN TD TG 及びアフリカ知的所有権機構と特許協力条約の締約国である他の国
V-2	国内特許 (他の種類の保護又は取扱いを求める場合には括弧内に記載する。)	AE AG AL AM AT AU AZ BA BB BG BR BY BZ CA CH&LI CN CO CR CU CZ DE DK DM DZ EC EE ES FI GB GD GE GH GM HR HU ID IL IN IS JP KE KG KP KR KZ LC LK LR LS LT LU LV MA MD MG MK MN MW MX MZ NO NZ OM PH PL PT RO RU SD SE SG SI SK SL TJ TM TN TR TT TZ UA UG UZ VN YU ZA ZM ZW
V-5	指定の確認の宣言 出願人は、上記の指定に加えて、規則4.9(b)の規定に基づき、特許協力条約のもとで認められる他の全ての国の指定を行う。ただし、V-6欄に示した国の指定を除く。出願人は、これらの追加される指定が確認を条件としていること、並びに優先日から15月が経過する前にその確認がなされない指定は、この期間の経過時に、出願人によって取り下げられたものとみなされることを宣言する。	
V-6	指定の確認から除かれる国	なし (NONE)
VI	優先権主張	なし (NONE)


4R0

4R0

## 特許協力条約に基づく国際出願願書

IP2203002PCT

原本（出願用） - 印刷日時 2002年03月19日（19. 03. 2002）火曜日 14時33分05秒

VII-1	特定された国際調査機関 (ISA)	日本国特許庁 (ISA/JP)	
VIII	申立て	申立て数	
VIII-1	発明者の特定に関する申立て	-	
VIII-2	出願し及び特許を与えられる国際出願日における出願人の資格に関する申立て	-	
VIII-3	先の出願の優先権を主張する国際出願日における出願人の資格に関する申立て	-	
VIII-4	発明者である旨の申立て（米国を指定国とする場合）	-	
VIII-5	不利にならない開示又は新規性喪失の例外に関する申立て	-	
IX	照合欄	用紙の枚数	添付された電子データ
IX-1	願書（申立てを含む）	3	-
IX-2	明細書	6	-
IX-3	請求の範囲	3	-
IX-4	要約	1	EZABST00.TXT
IX-5	図面	3	-
IX-7	合計	16	
	添付書類	添付	添付された電子データ
IX-8	手数料計算用紙	✓	-
IX-17	PCT-EASYディスク	-	フレキシブルディスク
IX-19	要約書とともに提示する図の番号	3	
IX-20	国際出願の使用言語名:	日本語	
X-1	提出者の記名押印		
X-1-1	氏名 (姓名)		

## 受理官庁記入欄

25.03.02

10-1	国際出願として提出された書類の実際の受理の日	
10-2	図面:	
10-2-1	受理された	
10-2-2	不足図面がある	
10-3	国際出願として提出された書類を補完する書類又は図面であってその後期間内に提出されたものの実際の受理の日（訂正日）	
10-4	特許協力条約第11条(2)に基づく必要な補完の期間内の受理の日	
10-5	出願人により特定された国際調査機関	ISA/JP
10-6	調査手数料未払いにつき、国際調査機関に調査用写しを送付していない	

## 国際事務局記入欄

11-1	記録原本の受理の日	
IX-18	その他	召喚委任状写し
IX-18	その他	納付手数料に相当する建替印紙を貼付し、書面
IX-18	その他	国際事務局の口座の振込を証明する書面

## 明 細 書

## ファクシミリ通信可能なV o I P端末およびその通信方法

## 5 技術分野

本発明はパケットネットワークでファクシミリ通信を実現するためのシステムに係り、特にI P (Internet Protocol) ネットワークで音声を送信するV o I P (Voice over IP) 上でファクシミリ通信を実現するV o I P 端末およびその通信方法に関する。

10

## 背景技術

I P ネットワークの進展によりV o I P 技術はネットワーク通信の重要な要素となりつつある。これに伴って、従来の公衆電話網で一般的となっているファクシミリ通信をV o I P 上で同様に実現することが強く望まれている。現在、

15 I P ネットワーク上でリアルタイムファクシミリ通信を行うには、T T C 標準H 3 2 3 付属資料Dの手順をサポートする端末(以下、H 3 2 3 D 端末という。)が必要である。

20

T T C 標準H 3 2 3 付属資料Dによれば、T 3 8 パケットを送信するためのチャネル開設時に、H 3 2 3 D 端末は、送信側及び受信側の能力に依存した音声用の論理チャネルと、T 3 8 パケットを転送するための2つの論理チャネル(受信側から送信側、及び、送信側から受信側) からなるファクシミリチャネルと、を開設し、それぞれ異なった回線及び帯域で通信を行う。

一方、T T C 標準H 3 2 3 付属資料Fには、シンプル・エンドポイント・タイプの概念が導入されている。特に、H 3 2 3 プロトコルのサブセットを用いて限定された機能のI P 電話アプリケーションに適合したオーディオ通信用の

25 シンプル・エンドポイント・タイプが定義されている。以下、T T C 標準H 3

2 3 付属資料Fに定義されるような、H 3 2 3 D機能を装備していないシンプル・オーディオ・エンドポイント・タイプに準拠した端末をH 3 2 3 F 端末という。

H 3 2 3 F 端末には、音声能力としてG. 7 1 1 (A 則、 $\mu$  則、5 6 k b i t / s、6 4 k b i t / s)、G 7 2 3. 1、G 7 2 9 a (8 k b p s) などのコーデックがサポートされる。また、H 3 2 3 F 端末では、H 3 2 3 D 端末とは異なり、通信時には1チャンネルだけが開設される。

上述したように、現在のところ、H 3 2 3 D 端末によりIPネットワーク上でのファクシミリ通信を実現することができる。しかしながら、このファクシミリ通信は、同じH 3 2 3 D 機能を装備した端末間でのみ実行することができ、  
10 相手が例えばH 3 2 3 F 端末の場合には実行することができない。

また、TTC標準H 3 2 3 付属資料Fにおいても、H 3 2 3 F 端末によるファクシミリ通信は検討課題として挙げられているだけである。

そこで、本発明の目的は、H 3 2 3 D 機能を装備していない端末でのファクシミリ通信を可能にする簡易なV o I P 端末及びその制御方法を提供すること  
15 にある。

#### 発明の開示

本発明によるV o I P 端末は、通信機器からのCNG信号の有無に従って、  
20 発呼要求の際に相手先へ提示するオーディオ能力リストを変更することにより、たとえばH 3 2 3 D 機能を装備していないH 3 2 3 F 端末でのファクシミリ通信を可能にする。

本発明の第1の観点によれば、IP (Internet Protocol) ネットワークで音声を送信するV o I P (Voice over IP) 上で通信可能なV o I P 端末において、  
25 接続された通信機器からのCNG信号の有無を検出するCNG信号検出手段と、前記CNG信号の有無に従って、発呼要求の際に相手先へ提示するオーディオ



能力リストを変更する能力リスト変更手段と、を有することを特徴とする。

前記コーデックリスト作成手段は、前記CNG信号が検出されなかった場合には前記複数のオーディオコーデックから任意に選択して前記オーディオコーデックリストを作成することができる。前記複数のオーディオコーデックには、  
5 少なくとも必須のオーディオ能力が含まれることが望ましい。ここではG. 7  
1 1 プロトコルが含まれ、前記CNG信号が検出された場合に選択される前記  
所定のコーデックはG. 7 1 1である、ことが望ましい。

本発明の第2の観点によれば、I P (Internet Protocol) ネットワークで音声  
を送信するV o I P (Voice over IP) 上で通信可能なV o I P 端末における通信  
10 方法において、接続された通信機器からの発呼要求に続いてCNG信号が入力  
されたか否かを検出し、前記CNG信号の有無に従って、相手先へ発呼要求す  
る際に相手先へ提示するオーディオ能力リストを変更する、ことを特徴とする。

さらに、本発明の第3の観点によれば、コンピュータに、パケットネットワ  
ーク上でファクシミリ通信動作を実行させるためのコンピュータプログラムに  
15 において、端末からの発呼要求に続いてCコンピュータに、I P (Internet  
Protocol) ネットワークで音声を送信するV o I P (Voice over IP) 上での通信  
動作を実行させるコンピュータプログラムにおいて、端末からの発呼要求に続  
いてCNG信号を検出するか否かを判定するステップと、前記CNG信号が検  
出された場合には、あらかじめ装備された複数のオーディオコーデックから所  
20 定のコーデックを選択するステップと、相手先へ発呼要求をするときに前記選  
択された所定コーデックのみを含めて送信するステップと、を有することを特  
徴とする。

上述したように、本発明によれば、CNG信号の検出の有無に従って発呼メ  
ッセージで通知するCODECリストを変更することで、たとえばFAX通信  
25 の場合にH 3 2 3 端末がサポートする最大の帯域幅の音声チャネル(G 7 1 1)  
を開設することができる。しかも、FAX通信のための特別なプロトコル、C

ODECをH323端末に装備する必要がない。

また、G. 711は、シンプル・エンドポイント・タイプのH323F端末の必須能力であるから、本実施形態のH323端末によって、H323D端末だけでなく、H323F端末へのFAX送信が可能となる。

- 5      さらに、上記実施形態では、FAX通信時のみG. 711 (64 k b i t / s) チャンネルを使用し、通常の音声通話には他のCODEC (たとえば、6.3 k b p s のG. 723) を利用することができる。このために、IPネットワークの帯域の有効利用が可能となる。

#### 10      図面の簡単な説明

第1図は、本発明によるV o I P端末を用いたIPネットワーク上でのファクシミリ通信システムの概略図であり、第2図は、本発明によるV o I P端末の一実施形態であるH323端末の概略的内部構成図であり、第3図は、本発明によるV o I P端末の通信方法の一実施形態を示すフローチャートである。

15

発明を実施するための最良の形態

第1図は、本発明によるファクシミリ通信装置を用いたIPネットワーク上でのファクシミリ通信システムの概略図である。

- 20      本発明によるH323端末11にはファクシミリ／電話端末 (以下、FAX／TEL端末という。) 12が接続されている。後述するように、H323端末11は、FAX／TEL端末12からの発呼がファクシミリ通信および電話通話のいずれであるかによってチャンネル開設時のオーディオ能力 (CODEC方式) を操作し、H323D機能を装備していないH323F端末13に対するファクシミリ通信を可能にする。

- 25      第2図は、本発明によるファクシミリ通信装置の一実施形態であるH323端末の概略的内部構成図である。FAX／TEL端末12は、RJ-11コネ

クタ101によってH323端末11に接続されている。

H323端末11には、RJ-11コネクタ101に接続されたアナログーデジタル／デジタルーアナログ（AD／DA）変換器102が設けられ、AD／DA変換器102はファクシミリ送信時のCNG信号を検出するためのCNG検出器103と符号化／復号化器（CODEC）104とに接続されている。  
5 CNG検出器103は、CNG信号を検出すると、CPU106へCNG信号を検出した旨を通知する。

CODEC104には必須のオーディオ能力であるG. 711（64 kbps）のほかにG. 723（6.3 kbps）などのオーディオCODECがあらかじめ装備されており、そのリストがCODECリスト105に格納されている。CODEC104は、CPU106の指示に従って選択されたCODECを用いて、FAX／TEL端末12からの信号をエンコードし、あるいは接続先から受信したコードをデコードする。  
10

CPU106はプログラム制御プロセッサであり、図示しないメモリに格納されたプログラムを実行することで、H323端末11の標準的な動作およびファクシミリ通信動作を制御する。たとえば、後述するように、CNG検出器103によってCNG信号が検出されると、CPU106はG. 711のCODECを選択して接続先に対して発呼要求を行う。CPU106はイーサネットコントローラ107に接続され、イーサネットコントローラ107によってインターネット等のIPネットワーク10に接続する。  
15  
20

第3図は、本発明によるファクシミリ通信方法の一実施形態を示すフローチャートである。

まず、FAX／TEL端末12がオフフックされ（ステップS201のYES）、相手先の電話番号が入力されると（ステップS202のYES）、CPU106は、続いてCNG信号が検出されるかどうかを判断する（ステップS203）。FAX／TEL端末12がFAX通信を行う場合には発呼要求に続いて  
25

CNG信号が送出される。従って、CNG検出器103からCNG検出信号を受信すれば、FAX通信であると判断できる。

- CNG信号が検出されると(ステップS203のYES)、CPU106はG. 711(ここでは、 $\mu$ 則、64kbit/s)のみを選択して能力交換用のCODECリストを作成する(ステップ204)。

他方、CNG信号が検出されない場合には(ステップS203のNO)、通常の音声通話であると判断できる。そこで、CPU106は、通常の能力交換手順に従い、H323端末がサポートしているCODECからユーザが任意に指定したものを選択してCODECリストを作成する(ステップ205)。

- 10 続いて、CPU106は、ステップS204およびS205のいずれかで作成されたCODECリストを発呼要求に含め、相手先へ送信する(ステップS206)。それに対して、相手先から接続要求の応答があれば(ステップS207のYES)、能力交換により決定されたCODECにて通信が開始される。

- 15 具体的には、CNG信号が検出された場合にはG. 711( $\mu$ 則、64kbit/s)によって高ビットレートのFAX通信が行われ、CNG信号が検出されない場合には、たとえばG. 723(6.3kbps)によって音声通話が行われる。こうして、FAX通信の場合、64kビットレートのチャネルを開設して通信が行われる。

- 20 以上述べたステップS201～S208からなるコンピュータプログラムをメモリに格納しておき、それを読み出してCPU106によって実行することで、本発明によるファクシミリ通信方法を実現することも可能である。

## 請 求 の 範 囲

1. I P (Internet Protocol) ネットワークで音声を送信する V o I P (Voice over IP) 上で通信可能な V o I P 端末において、
  - 5 接続された通信機器からの C N G 信号の有無を検出する C N G 信号検出手段と、  
前記 C N G 信号の有無に従って、発呼要求の際に相手先へ提示するオーディオ能力リストを変更する能力リスト変更手段と、  
を有することを特徴とする V o I P 端末。
- 10 2. I P (Internet Protocol) ネットワークで音声を送信する V o I P (Voice over IP) 上で通信可能な V o I P 端末において、  
通信機器を接続するためのコネクタと、  
あらかじめ装備された複数のオーディオコーデックと、  
前記通信機器からの C N G 信号を検出する C N G 信号検出手段と、
  - 15 前記 C N G 信号が検出された場合には前記複数のオーディオコーデックから所定のコーデックを選択してオーディオコーデックリストを作成するコーデックリスト作成手段と、  
相手先へ発呼要求をするときに前記オーディオコーデックリストを含めて送信する発呼手段と、
- 20 有することを特徴とする V o I P 端末。  
3. 前記コーデックリスト作成手段は、前記 C N G 信号が検出されなかった場合には前記複数のオーディオコーデックから任意に選択して前記オーディオコーデックリストを作成する、ことを特徴とする請求項 2 記載の V o I P 端末。  
4. 前記複数のオーディオコーデックには、少なくとも G. 7 1 1 プロトコル  
25 が含まれ、前記 C N G 信号が検出された場合に選択される前記所定のコーデックは G. 7 1 1 である、ことを特徴とする請求項 2 または 3 に記載の V o I P

端末。

5. I P (Internet Protocol) ネットワークで音声を送信する V o I P (Voice over IP) 上で通信可能な V o I P 端末における通信方法において、

5 接続された通信機器からの発呼要求に続いて C N G 信号が入力されたか否かを検出し、

前記 C N G 信号の有無に従って、相手先へ発呼要求する際に相手先へ提示するオーディオ能力リストを変更する、

ことを特徴とする V o I P 端末における通信方法。

6. I P (Internet Protocol) ネットワークで音声を送信する V o I P (Voice over IP) 上で通信可能な V o I P 端末における通信方法において、

10 複数のオーディオコーデックをあらかじめ用意し、

接続された通信機器からの発呼要求に続いて C N G 信号を検出するか否かを判定し、

15 前記 C N G 信号が検出された場合には前記複数のオーディオコーデックから所定のコーデックを選択し、

相手先へ発呼要求をするときに前記選択された所定コーデックのみを含めて送信する、

ことを特徴とする V o I P 端末における通信方法。

7. 前記 C N G 信号が検出されなかった場合には、前記複数のオーディオコーデックから任意に選択し、相手先へ発呼要求をするときに前記選択された全てのオーディオコーデックを含めて送信する、ことを特徴とする請求項 6 記載の V o I P 端末における通信方法。

8. 前記複数のオーディオコーデックには、少なくとも G. 7 1 1 プロトコルが含まれ、前記 C N G 信号が検出された場合に選択される前記所定のコーデックは G. 7 1 1 である、ことを特徴とする請求項 6 または 7 に記載の V o I P 25 端末における通信方法。

9. コンピュータに、I P (Internet Protocol) ネットワークで音声を送信する V o I P (Voice over IP) 上での通信動作を実行させるコンピュータプログラムにおいて、

端末からの発呼要求に続いて C N G 信号を検出するか否かを判定するステップと、

前記 C N G 信号が検出された場合には、あらかじめ装備された複数のオーディオコーデックから所定のコーデックを選択するステップと、

相手先へ発呼要求をするときに前記選択された所定コーデックのみを含めて送信するステップと、

10 有することを特徴とする V o I P 端末用コンピュータプログラム。

10. 前記 C N G 信号が検出されなかった場合には、前記複数のオーディオコーデックから任意に選択し、相手先へ発呼要求をするときに前記選択された全てのオーディオコーデックを含めて送信する、ことを特徴とする請求項9記載の V o I P 端末用コンピュータプログラム。

15 11. 前記複数のオーディオコーデックには、少なくとも G. 711 プロトコルが含まれ、前記 C N G 信号が検出された場合に選択される前記所定のコーデックは G. 711 である、ことを特徴とする請求項9または10に記載の V o I P 端末用コンピュータプログラム。

要 約 書

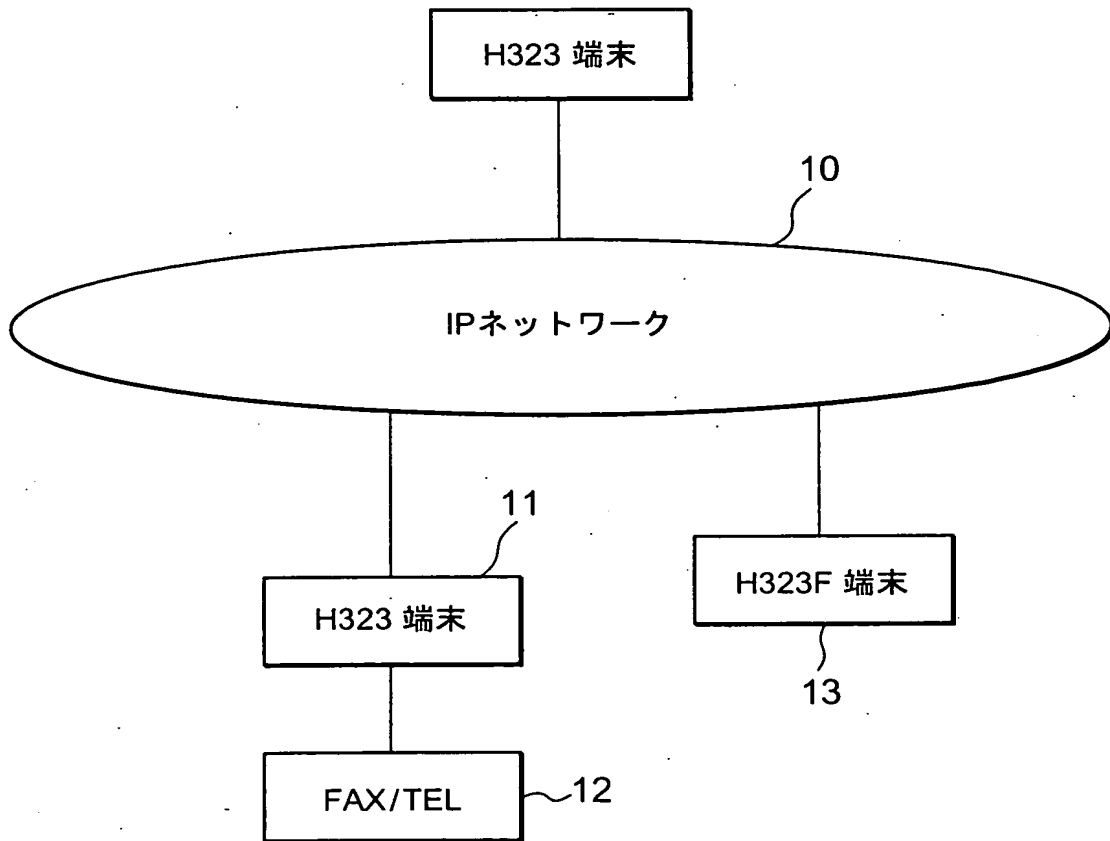
H323D機能を装備していないV o I P端末でのファクシミリ通信を可能にする簡易なV o I P端末及びその通信方法を提供する。ファクシミリ／電話

- 5 端末12からの発呼要求に続いてCNG信号が送出されたか否かを判定する。

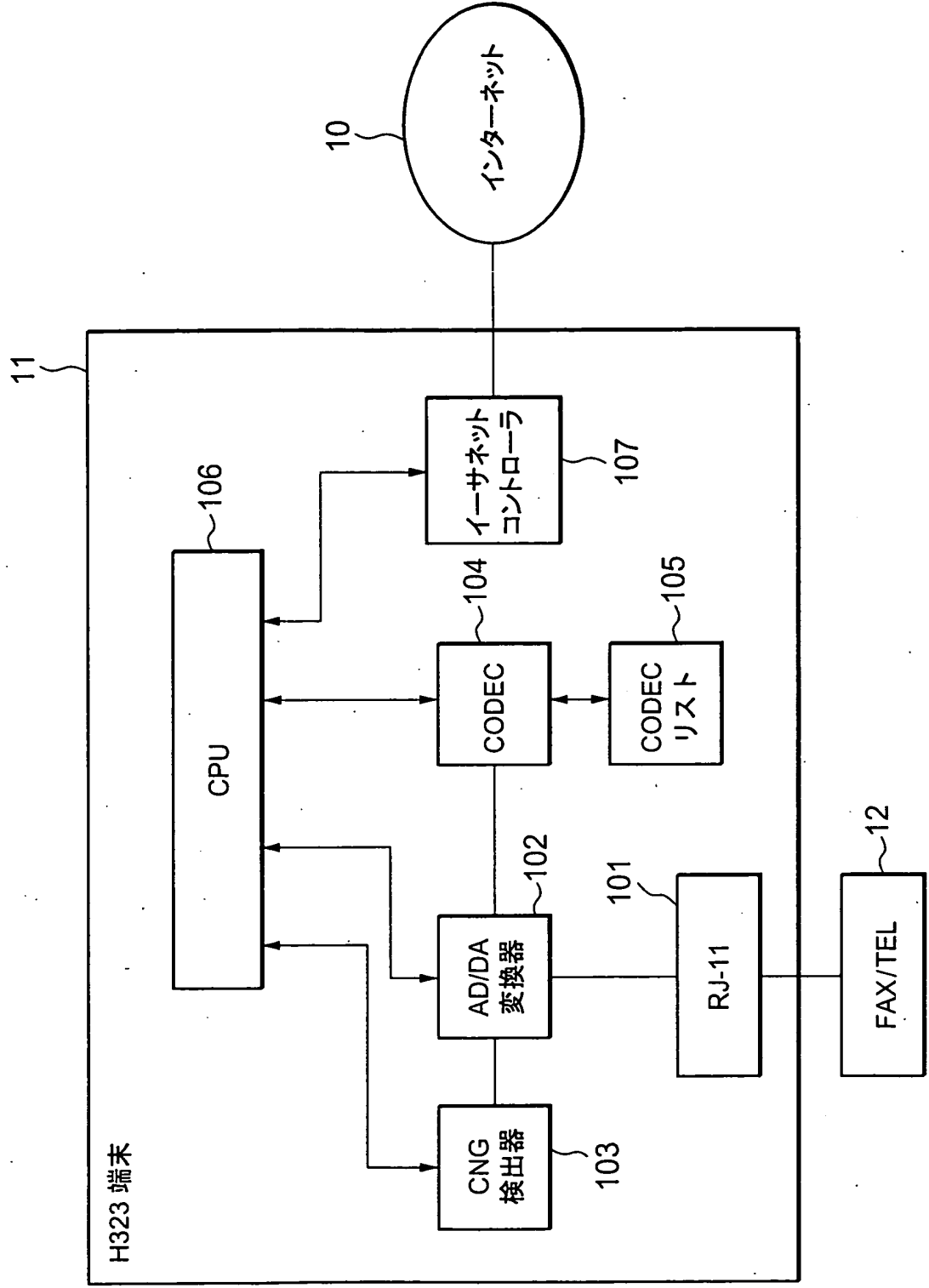
CNG信号が検出された場合には、あらかじめ装備された複数のオーディオC O D E CからG. 7 1 1のみを選択してC O D E Cリストを作成し、相手先への発呼要求に含めて送信する。



第1図



第2図



## 第3図

